アウトラインを活用した文章改善

東京大学 大学院工学系研究科
大学総合教育研究センター
吉田墨

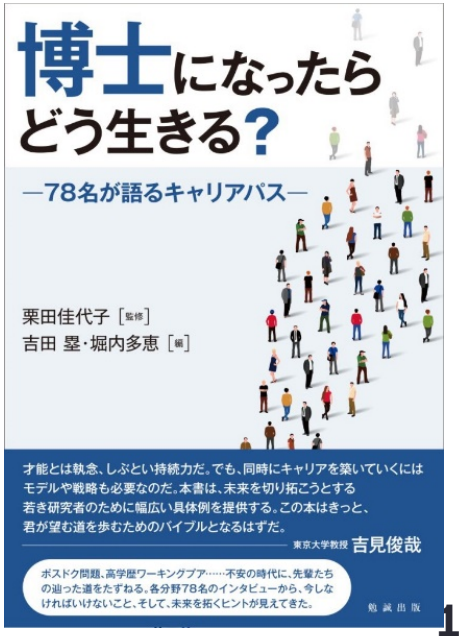
2021年10月23日

自己紹介 ～吉田墨～

- 東京大学 大学院工学系研究科 准教授
- 東京大学 大学総合教育研究センター 高等教育部門長
  - 教育工学（EdTech、ファカルティ・ディベロップメント）
  - オンライン教育の支援（ポータルサイト・オンライン教育支援サポーター・コモンサポーター運営…）

- より良い教育の支援に向けて活動中 (LearnWiz)
  - オンラインで大規模な アクティブラーニング

- 研究室 HP



自己紹介 ～中條麟太郎～

- 東京大学 文学部人文学科心理学専修 3年生
- 東京大学 大学院情報学環 教育部 研究生
  - Human-computer interaction （ユーザーとコンピューターとの関わり）
  - オンライン教育支援（ポータルサイト・オンライン教育支援サポーター・コモンサポーター運営…）

LearnWiz one

一人ひとりの意見・感想を
大規模に集約・共有する
オンラインツール

ワークショップの目的・目標

- 目的
  - より良い文章にするために，アウトライン思考法を学び，活用できるようにする
- 目標
  - アウトライン思考法とは何かについて説明できる
  - 文章改善の文脈でアウトライン思考法を活用する際のポイントを説明できる
  - 文章改善の文脈でアウトライン思考法を実践する

目次

- アウトライン思考法
- アウトラインを活用した文章改善
- 文章改善ワーク
- おわりに

- お願い
  - グループワークに参加したい方は名前の前に「G」を追加

アウトライン思考法

アウトライン思考法とは

- アウトラインとは
  - 一般的には物事の概要・全体像のこと
  - ここでは「伝えたい内容の要素を短いキーワードや文章で表現して羅列したもの」とする
  - 例: このスライドの内容自体もアウトライン
- アウトライン思考法とは
  - アウトラインを使って物事を整理・思考する方法
  - 様々な場面で活用可能
    - 文章作成，資料作成，ワークショップ開発，研究計画書作成(学振・科研費)，思考の整理…
  - メリット
    - 伝えたい内容の全体像を把握・整理できる
    - 文章や資料の大幅な修正がほぼ無くなる

用語説明

- 要素
  - アウトラインに記述する短いキーワードや文章のこと
  - 例の A, B, C が要素
- 子要素
  - 要素の中に入っているサブ要素のこと
  - 例の A に対して，B, C が子要素
- 親要素
  - サブ要素を含んでいる要素のこと
  - 例の B, C に対して，A が親要素
- インデント（字下げ）
  - 子要素を作成するために用いるもの
  - 子要素を作りたいときは，一段階右にインデント

アウトライン例

- A
  - B
  - C

おすすめのツール

- Google ドキュメント（オンライン）
  - 複数人で共同で作成したいときはこちらを使う
- Notepad++（Windows）
  - 1人で黙々と作業したいときはこちらを使う
- WorkFlowy，Bear プライベートメモ，iCloud メモ，VS コード（Extension の Markdown All in One 追加推奨）…

<u>スマートインデントできれば基本何でも OK</u>

（同じインデントで改行）

文章書くときのポイント

- **読み手と目的を明確にする**
  - 誰に読んでもらうのかを明確にする
  - 何を伝えたいのかを明確にする

- 同じテーマでも読み手と目的が変わると書く内容が変わる
  - 例: ツールの説明文
    - 初心者ユーザーの読者
      → ツールのメリットや基本的な使い方を簡易に説明
    - 詳細なスペックを知りたい読者
      → 専門用語等を利用して詳細な情報を正確に説明

アウトラインを作るときのポイント

- 作成前
  - 最初から完璧なものを目指さない（文章作成中に変わることが多い）
- 作成中
  - 伝える上で重要な要素を挙げる
    - 各要素が目的に対して本当に必要なのか，確認する
    - 要素を削除しても内容が伝われば，その要素は不必要
  - 各要素の詳細な説明になるように子要素を作る
  - 具体的に文章やスライドがイメージできるレベルまで作る
  - 要素間のつながりがスムーズか確認する
- 作成後
  - 文章作成中にアウトラインが変わることを許容する
    - 文章作成に迷いがなければ，アウトラインの修正は必要なし（整理が必要だと感じたときに修正して文章の構造を再検討する）
  - 他の人からフィードバックもらう

アウトラインの作成例 ～好きなもの～

- アウトライン案
  - アクティブラーニングの説明
  - アクティブラーニングの魅力・意義
  - アクティブラーニングを実践してもらうために

アウトラインの作成例 ～好きなもの～

- アウトライン案
  - アクティブラーニングの説明
  - アクティブラーニングの魅力・意義
  - アクティブラーニングを実践してもらうために

アウトラインの作成例 ～好きなもの～

- アウトライン案
  - アクティブラーニングの説明
    - ただ聞くだけの受動的な学びではなく，自分の考えを書いたり，話したりする能動的な学び
  - アクティブラーニングの魅力・意義
    - 楽しく学べる
      - 実体験
    - 深く学べる
      - 研究成果
        - 成績優秀者も成績が向上する
        - モチベーションが高まる
  - アクティブラーニングを実践してもらうために
    - Aセメスターの吉田が行う授業の紹介

アウトラインの作成例 ～好きなもの～

- 文章案
  - いきなりですが「アクティブラーニング（AL）」おすすめです！AL とは，ただ聞くだけの受動的な学びではなく，自分の考えを書いたり，話したりする能動的な学びのことで，代表的な例だとグループワークが挙げられます.
  - AL の魅力はなんといっても楽しく学べることです．自分自身も AL によって考える力が身についたり，他者と協働する方法や重要性を身につけることができました.
  - また，これまでの研究で，AL は学習者のモチベーションが上がる，一方向的な講義よりもテストの結果が良くなるなど，様々なメリットを持っていることが明らかになっています.
  - そんな AL に興味を持ったあなた！2021年度Aセメスターに私が AL を交えた授業を実施するので，是非体験しに来てみてください！（授業名「新たな EdTech を提案しよう」，「創造的ものづくりプロジェクト・創造性工学プロジェクト」内の「EdTech プロジェクト」）また，大学院生の方には，東京大学フューチャーファカルティプログラムもおすすめです！

アウトラインの作成例 ～好きなもの～

- 文章案（ボールド下線がアウトラインとは異なるが大枠は同じ）
  - いきなりですが「アクティブラーニング（AL）」おすすめです！AL とは，ただ聞くだけの受動的な学びではなく，自分の考えを書いたり，話したりする能動的な学びのことで，**代表的な例だとグループワークが挙げられます．**
  - AL の魅力はなんといっても楽しく学べることです．自分自身も AL によって考える力が身についたり，他者と協働する方法や重要性を身につけることができました．
  - また，これまでの研究で，AL は学習者のモチベーションが上がる，一方向的な講義よりもテストの結果が良くなるなど，様々なメリットを持っていることが明らかになっています．
  - そんな AL に興味を持ったあなた！2021年度Aセメスターに私が AL を交えた授業を実施するので，是非体験しに来てみてください！（授業名「新たな EdTech を提案しよう」，「創造的ものづくりプロジェクト・創造性工学プロジェクト」内の「EdTech プロジェクト」）**また，大学院生の方には，東京大学フューチャーファカルティプログラムもおすすめです！**

感想・疑問ワーク

グループワークする人用

グループワークに参加したい方は
名前の前に「G」を入れてください
Google ドキュメントを用います

- (グループ) グループ番号を確認して，簡単に自己紹介し，ここまでの話を聞いた感想・疑問を共有 (6分)
  - グループ番号は Zoom ウィンドウの左上のルーム番号です
  - グループ番号に対応した Google ドキュメントに記入をお願いします

1人でワークする人用

LearnWiz One を用います

- これまでの話を聞いた感想・疑問を LearnWiz One に投稿 (4分)
- 他の人達の投稿を確認 (2分)

(全体) 共有

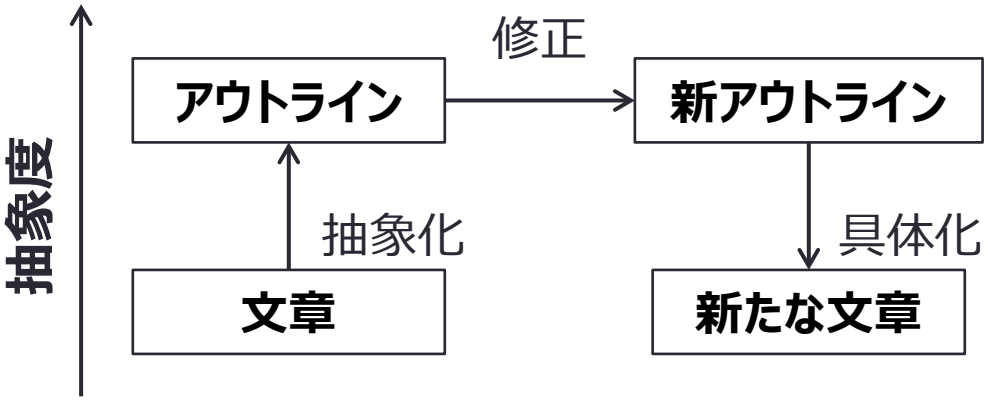
アウトラインを活用した文章改善

アウトラインを用いて文章を改善する

- 文章のアウトラインを作る
- 文章の新アウトラインを作る
- 新たな文章を作る

普通の文章改善

アウトラインを用いた文章改善



文章からアウトラインを作る方法

- 要素の作成
  - 文章をそのまま要素にする（短い文章の場合）
  - 文章を要約・抽象化して要素にする
- 要素の配置
  - 要素同士の関係性を考える
  - 子要素が親要素の具体的な説明になるように配置する
- 注意点
  - 絶対的に正しいアウトラインがあるわけではありません.
    目的や視点によって変わります（アウトラインは**多様**）

短い文章例 ～本文～

- サンプル　　出典: 小笠原信之『伝わる！文章力が身につく本』
  - 事件の問題点は、賞味期限切れの材料を使っていたことはもちろん、そのことで責任を追及されたくないという誤った判断のため、問題が発覚したとき、公表しなかったことである。

- 書籍の改善案（1文1義）
  - 事件の問題点は、賞味期限切れの材料を使っていたことだ。さらに、そのことで責任を追及されたくないという誤った判断、もあった。そのため、問題が発覚したとき、公表しなかった。それも問題である。

短い文章例 ～要素の作成～

- 要素を作る
  - **事件の問題点**は、**賞味期限切れの材料を使っていたこと**はもちろん、そのことで**責任を追及されたくないという誤った判断**のため、**問題が発覚したとき、公表しなかったこと**である。

- 要素
  - 事件の問題点
  - 賞味期限切れの材料を使っていたこと
  - 責任を追及されたくないという誤った判断
  - 問題が発覚したとき、公表しなかったこと

短い文章例 ～アウトライン案と改善案～

	改善 前	改善 後
• 事件の問題点		
• (問題点①) 賞味期限切れの材料を使っていたこと	①	①
• (問題点②) 問題が発覚したとき公表しなかったこと	③	②
• (原因) 責任を追及されたくないという誤った判断	②	③

- 改善案
  - 事件の問題点は、賞味期限切れの材料を使っていたこと、とその事実が発覚したときに公表しなかったことである。事実を公表しなかった理由は、責任を追求されたくないと思ったためである。

アウトラインを読む順序と
文章の順序を合わせると読みやすくなる

短い文章例 ～文量を減らしたい場合～

- 事件の問題点
  - (問題点①) 賞味期限切れの材料を使っていたこと
  - (問題点②) 問題が発覚したとき公表しなかったこと
  - ~~(原因) 責任を追及されたくないという誤った判断~~
- 改善案
  - 事件の問題点は、賞味期限切れの材料を使っていたこと、とその事実が発覚したときに公表しなかったことである。

要素を減らすことで文量を減らせる

短い文章例 ～文量を増やしたい場合～

- 事件の問題点
  - (問題点①) 賞味期限切れの材料を使っていたこと
  - (問題点②) 問題が発覚したとき公表しなかったこと
    - (原因) 責任を追及されたくないという誤った判断

短い文章例 ～文量を増やしたい場合～

- 事件の問題点
  - (問題点①) 賞味期限切れの材料を使っていたこと
    - (原因) 事業拡大の失敗に伴う財政難
  - (問題点②) 問題が発覚したとき公表しなかったこと
    - (原因) 責任を追及されたくないという誤った判断

- 改善案
  - 事件の問題点は2つあり、1つ目は事業拡大の失敗に伴う財政難から賞味期限切れの材料を使っていたことである。また、2つ目は責任を追求されたくないと思ったために、その事実が発覚したときに公表しなかったことである。

要素を追加することで
本質的な情報を増やして文量を増やせる

文章改善ワーク

文章改善ワーク

- テーマ　読み手：新聞社の採用担当者
  目的　：自分を採用してほしい
- 文章案
  - 私が貴社へ応募するのは、貴社が「考える力」を読者へ伝えていると信じるからです。
  - 若年層が新聞離れを起こしています。その理由はインターネットが普及し、情報を手に入れる場所が増えたせいだけではありません。近年、多くのメディアは過激なタイトルを内容の薄い記事に乗せ「思考を停止させる」道具になりました。そして、思考停止の媒体となったメディアを若者は見放しています。
  - しかし、貴社の記事、特に社説やコラムは常に新たな思考を促しています。私は貴社にて「考える力」を伝える一員になりたいと願います。そのためにまず貴社ではいかにして報道内容が企画されていくのかを学びたいため、応募致します。

出典:志望動機が書けない人が陥る3つのワナとその処方箋【新卒向け/添削例文付き】
http://gaishishukatsu.com/archives/13421

文章改善ワーク

グループワークしたい人用	1人でワークしたい人用
・(グループ) アウトライン作成 (10分) 　・Google ドキュメントに作成	・アウトライン作成 & 送信 (8分) 　・手元で作成 & LearnWiz One に投稿 ・LearnWiz Oneで他の投稿を確認 (2分)
(全体) 共有	
・(グループ) 改善の方針を検討 (8分) 　・Google ドキュメントに記入	・改善の方針を検討 & 投稿 (6分) ・LearnWiz Oneで他の投稿を確認 (2分)
(全体) 共有	
・(グループ) 改善案を作成 (15分) 　・Google ドキュメントに記入	・改善案を作成 & 投稿 (8分) ・他者の投稿確認（いいね）(2分) ・他者の投稿へフィードバック (5分)
(全体) 共有	

おわりに

おわりに

- ご参加いただきありがとうございました！
- アンケートにご協力ください！
- 今後の公開イベント
  - 2021年10月29日（金）20:00-21:00 LearnWiz One 使い方説明会
  - 2021年10月30日（土）18:30-21:00 文章作成WS
  - 2021年11月5日（金）20:00-21:00 LearnWiz One 使い方説明会
- 情報発信・共有
  - メーリングリスト: Web フォーム or Google グループからの登録
  - 情報発信: Facebook ページ
  - オンラインコミュニティ: Facebook グループ

アウトライン思考法 参考文献

- 基本編
- 文章作成編
  - 実例: Google ドキュメントの使い方
  - 実例: ダージリンの紹介
  - 実例: オリンピックにおけるグラフィックデザイン
- ワークショップ編
  - 第1回 ワークショップを設計する
  - 第2回 スライドを作成する
  - 第3回 ワークショップを実施して改善する
  - 第4回 改善したワークショップを実施する